

コミュニティ・スクール絹

小山市立絹義務教育学校 地域連携部 第38号 (令和3年11月発行)

きぬぎむ祭

10月23日(土)は、きぬぎむ祭でした。各家庭1名参観という制限の中、行われました。

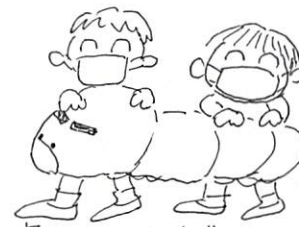
★



黒いマスクが
おそろいの
コスチューム

1年生 は、手で体をパンパンたたき、ミザドリズムを踊るダンス型の演奏。ちょっとまねいて一緒に踊るとついていけない運動量。堂々とした、発表でした。

2年生



は、蚕・うさぎ・農園等、生活科の学びを

劇にして、クイズを出しました。あらかじめ録音しておいた台詞が上手でした!!

3年生 は、影絵を使って。



ステージでダンスする子あり、
下で影絵をつくる子あり。
自分にできることをみんなが
せいっぱい、真剣に
やっている姿に感動しました。

昨年の
芸術鑑賞
での学びを
生かした発表。

サッ

4年生

のダンスはキレッキレでした。何よりみんながダンスを楽しんでたことが素敵でした。このダンスは宿泊学習のキャンプファヤードでも踊りました。まだまだ踊りたそうな元気っぱいの4年生でした。



YOASOBIの
「三原色」

5年生 は、各教科での学びを、飼育している東京ダルマガエルの「たこしげ」と「ゴンサレス」の脱走劇にからめて発表しました。そのネーミングセンスに微笑みが止まらないのは私だけでしょうか?!



×ダマの
オスとメスの
見分け方は……

ゴンサレスと
たこしげは、
オスかメスか
わからないぞう……
オスであればように。
なんどなく……

6年生

は、しっとり落ちついて、前期課程の最年長者らしい「カノン」の合奏でした。



このハルウロ覚え
なのですが、
あります?

7年生

になると、たちまち生徒主体の雰囲気かたよい始め……



製作
○○○○
○○○○

時間をかけて作ったのであるう
エンドロールが感動的でした。
昨年6年生だったこの子たちは、
「ああ、後期課程の生徒なんだ」と
思わせてくれました。

感染対策を
しながら、こんなにも
バラエティにこだわ
発表ができるの
ですね……。



8年生の、SDGs、廃材を使ったリズム打ちは、「カッコイー!!」の一言でした。



冒頭のカンパいのシーンは、このご時世、心々うらやましさを感じてしまいました。

そして9年生は、さすがの最高学年でした。



この着物は、小山市から借りた、本物の結城袖です。8年生の発表を、9年生の存在がまとめてくれたような上履でした。



PTA 役員さんの協力があって、きぬぎむす祭は成り立ちました。



今回は、本部役員以外にも、学年委員さんがお手伝いをしてくださいました。運動会でも、厚生委員、学年委員が本部役員とともに活動してくださったことで、コロナ禍での保護者の参観が叶いました。感染対策の意識を共有して、ともに行事に向き合えたことが尊く、ありがたく感じました。

剪定ボランティア



学校運営協議会委員長の上野祥夫さんと、委員の吉田龍男さんは、何日も学校に通い、東校庭の西側の樹木を剪定してくださいました。PTA奉仕作業での剪定が2年続けてなくなったため、大変ありがとうございました。



見通よく、防犯。

せきれい復活!

中にも外にも本がざら!! わくわくします。本好きには。



室内には2人しか入れないため、代表の子がクラスの本を並びます。

小山市立絹義務教育学校

〒323-0155 小山市福良2240-1
電話 0285(49)0141
ファックス 0285(49)2764
E-メール kinugimu@oyama-tcg.ed.jp

前期課程教頭

海老沼真弓